

令和6年度

## 妙典小学校 学校運営協議会だより

No.5 令和7年2月号

2月14日(金)、令和6年度第5回学校運営協議会を開催しました。今回は、主に、後期(12月)学校評価結果や学校関係者評価について、協議を行いました。

### 【第5回学校運営協議会概要】

○日 時 令和7年2月14日(金) 17時30分～18時30分

○場 所 妙典小学校 ランチルーム

○参加者 15名

○次 第 1 協 議

(1)後期(12月)学校評価(保護者アンケート、児童アンケート)の結果について

(2)学校関係者評価について

(3)令和6年度のまとめについて

(4)令和7年度学校運営方針について

2 報告及び意見交換

(1)令和7年度年間行事予定について

(2)地域行事の予定について

3 その他



### 1 協議

(1)後期(12月)学校評価(保護者アンケート、児童アンケート)の結果について

#### ■校長からの報告

- ・資料1 R6年度12月保護者アンケート結果<年間比較・市平均比較>
- ・資料2 R6年度12月児童アンケート結果
- ・資料3 R6年度12月学校評価(成果と課題)>

#### ■協議内容(主なご質問・ご意見)

- ・タブレットの活用が進んでいるようだが、子供たちが扱うので故障等が心配である。
- ・コロナによる制限が解除され、学校行事など少しずつ良くなっている。
- ・タブレットの活用が進んでいることは嬉しいが、本など(紙媒体)も大事にしてほしい。
- ・相談したくてもできない児童の声をどうやって拾っていくか大きな課題だと思う。完全秘匿性の相談システムが必要に感じる。
- ・相談ボックスに書いて入れる勇気がないとなかなか入れられないのではないかな。

【回答】相談カードをボックス横に置き、持って行って一人で書いて入れられるようにしている。ボックスは毎日確認し、入っていた場合は相談希望者へ連絡し、その日のうちに話を聞けるようにしている。

- ・子供たちの学校生活を充実させるため、先生方が様々なことを日々改善していることがわかる。
- ・低学年の子供たちは、学校での生活をまだしっかりと理解できないことも多い。自分の子(4年生)でもようやく色々なことを理解できるようになってきた。
- ・施設開放団体もただ学校施設を借りるだけでなく、参加する子供たちの悩みなどを理解できるようにしていきたい。地域の大人として子供たちの力になりたい。
- ・「困ったことがあったときに相談できる先生がいますか」の項目が向上。年々子供たちが学校で過ごす環境がよくなっていると感じる。
- ・読書活動への協力ができるようになり、ボランティアの皆さんも読み聞かせ前に積極的に本を探したり、読み聞かせをした感想や子供たちの反応を話し合ったり、保護者同士の交流も深まった。
- ・タブレットの活用に関して、課題をただ調べるだけで終わらず、たくさんの中から子供たちが取捨選択しながら学びを深めてほしい。子供たちの創造力を高める活動を期待したい。

## (2)学校関係者評価について

- ・校長の説明を受けて評価していただき、後日、または本日提出してください。

## (3)令和6年度のまとめについて

- ・地域人材を活用し、充実した体験活動を実施することができた。江戸川探検(安達さん)、獅子頭に関する探究学習(上妙典自治会・臼倉さん)、防災に関する探究学習(市川市役所地域防災課)、海苔漉き体験(藤原さん・安達さん・臼倉さん)
- ・今年度よりPTAと連携した読み聞かせ活動(あったか読み聞かせ隊)を実施。毎週金曜日の朝に実施し、子供たちも楽しみにしている。保護者と子供たちの交流をさらに深めていきたい。
- ・

## (4)令和7年度学校運営方針について

- ・基本的には令和6年度を継承し、児童の「主体性を育てる」ことを学校教育目標に掲げ、「自分で考え、決める子」の育成を目指す。

## 2 報告及び意見交換

### (1)令和7年度年間行事予定について

### (2)地域行事の予定について